

令和7年度の主な事務事業の評価結果一覧(上下水道局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	10301010	主要施設の更新・耐震化事業	施設の 管理・運営	配水池・配水塔など主要な水道施設の耐震化や災害時の水道水の確保を目的とした緊急遮断弁の整備等を進めます。	●長沢浄水場排水処理施設の更新・耐震化の推進 ●千代ヶ丘配水塔1号塔の更新は、当初令和6年度に完了予定としていたが、2号塔工事の遅延等により令和9年度の完了に向けて引き続き更新を推進(配水池・配水塔の耐震化率 目標:100.0% 実績:100.0%) ●緊急遮断弁は、千代ヶ丘配水塔1号塔の更新と2号塔の耐震化完了に合わせて、当初令和6年度に整備を完了する予定としていたが、2号塔の工事遅延等の影響により令和9年度の完了に向けて引き続き整備を推進(災害時の確保水量 目標:16.6万m3以上 実績:16.5万m3)	2,081,400	2,669,464	4	P2
2	10301020	送・配水管の更新・耐震化事業	施設の 管理・運営	老朽化した送・配水管や重要な管路の計画的な更新・耐震化を実施するほか、事故等に備えた管路の整備を実施します。また、応急給水拠点の整備や利便性向上の取組を進めます。	●老朽化した送水管・配水本管の計画的な更新の推進 ●バックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化の推進 ●新たな重要な管路の耐震化については、対象とする施設及び路線の計画的な更新を推進(消防署・警察署等の重要施設への供給ルートの耐震化完了率 目標:56.6% 実績:56.6%) ●更新時期を迎えた配水管の計画的な更新・耐震化の推進(管路の耐震化率 目標:44.9% 実績:45.7%) ●重要な管路の耐震化率は、老朽配水管の更新について関係機関との調整に時間を要したこと等から、目標を下回っているが早期完了に向けて引き続き整備・調整を推進(重要な管路の耐震化率 目標:100.0% 実績:98.5%) ●開設不要型応急給水拠点の整備については、千代ヶ丘配水塔更新工事の遅延により、目標を下回っているが、令和9年度の完了に向けて引き続き整備を推進(開設不要型応急給水拠点の整備率 目標:100.0% 実績:99.4%) ●応急給水拠点の利便性向上の検討をした結果、千代ヶ丘配水塔の整備をもって完了	12,436,503	11,228,696	3	P4
3	10301030	給水管の更新事業	施設の 管理・運営	漏水の主な原因となっている老朽給水管を更新するとともに、輻輳する老朽給水管の解消を進めます。	●老朽給水管の更新の推進 ●配水管の新設による輻輳する老朽給水管の解消(輻輳老朽給水管対策管路整備延長 目標:2.0km 実績:2.2km)	1,639,793	1,574,059	3	P6
4	10301040	水道水質の管理業務	その他	良質で安全な水道水をご家庭に届けるため、水源から給水栓までの徹底した水質管理や塩素臭の少ないおいしい水の供給に向けた取組を進めます。	●「水安全計画」による水源から給水栓までの総合的な水質管理(水道水質基準の適合率 目標:100% 実績:100%) ●「水質検査計画」に基づいた水質検査の実施と情報提供 ●残留塩素の適切な管理(平均残留塩素濃度 目標:0.3~0.5mg/L 実績:0.45mg/L)	126,032	129,748	3	P8
5	10301050	工業用水道施設の整備事業	施設の 管理・運営	浄水場など主要な工業用水道施設の耐震化・浸水対策を実施するとともに、将来の需要動向を踏まえ、施設・管路の更新に向けた検討を進めます。	●老朽化した管路の更新については、1号配水支管の更新が完了 ●断水リスク低減等を目的とした送水管の二重化・ネットワーク化は、浄水場連絡管の工法変更及び1号-3号送水連絡管並びに2号-3号送水連絡管のスケジュール見直しにより遅延が生じたため目標を下回ったが、浄水場連絡管については、令和9年度以降の完了に向けて引き続き整備を推進、ほかの2路線においても整備に着手(工業用水道の浄水場等連絡管整備率 目標:100% 実績:0%) ●需要動向を踏まえた工業用水道施設・管路の将来構想については、基幹施設更新に向けて、工水2号送水管更新、長沢浄水場浄水施設更新に関する基本設計を実施 ●工業用水道施設の耐震化の推進及び浸水対策を完了	4,119,007	4,402,272	4	P10
6	10301080	水道・工業用水道事業における経営基盤の充実・強化事業	その他	水道・工業用水道事業経営の効率化やお客さまサービスの更なる向上を進めます。	●令和8年度以降の方向性を示す新たなビジョン及び中期計画を策定 ●水道事業については、令和6年度に川崎市上下水道事業経営審議委員会へ諮問した水道事業の料金制度等のあり方について、令和8年2月に答申を受理し、検討を実施 ●工業用水道事業については、令和7年度以降の契約水量の見直しに伴う料金収入の大幅な減少に対応するため、令和7年4月から新料金制度を導入(減量負担金制度は令和7年1月から導入)	1,880	5,793	3	P16

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
7	10302010	下水道の管きよ・施設の地震対策事業	施設の 管理・運営	避難所や重要な医療機関等と水処理センターとを結ぶ下水管きよなどの重要な下水管きよや水処理センター・ポンプ場の耐震化などを推進します。	●重要な管きよの耐震化の推進については、川崎駅以北の約4.7kmを実施し、これまでに、約28.4kmの耐震化が完了 (重要な管きよの耐震化率(市内全域) 目標:89.7% 実績:89.7%)、(重要な管きよの耐震化率(川崎駅以北の地域) 目標:28.4% 実績:28.4%)、(避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きよの耐震化率 目標:89.0% 実績:89.0%) ●水処理センター、ポンプ場の耐震化の推進については、汚水揚水機能の確保に向けた取組として、小向ポンプ場の耐震設計や六郷ポンプ場の工事施工等を推進、並びに消毒機能確保に向けた取組として、入江崎水処理センターにおいて工事を推進 ●汚泥圧送管の地震対策の推進については、麻生水処理センターから等々力水処理センターまでの約1.7kmを実施し、これまでに、約19.9kmの耐震化が完了	2,365,972	2,744,994	3	P18
8	10302020	浸水対策事業	施設の 管理・運営	浸水リスクの高い重点化地区において、既存施設の更なる活用等の浸水対策を推進するほか、令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえた対策などを推進します。また、外水氾濫等の発生時における下水道施設の機能確保に向けた対策を推進します。	●重点化地区における雨水管きよなどの整備の推進については、三沢川地区、土橋地区において浸水対策工事を推進、京町・渡田地区、大島地区、観音川地区において、雨水貯留管としての機能を有する入江崎統合幹線の整備に向けた工事用地の確保やルート選定、早期効果発現を考慮した施設計画の検討、国費の取得に向けた国との調整を実施、入江崎統合幹線の発進立坑用地となる入江崎水処理センター内の関連工事に着手、並びに川崎駅東口周辺地区において、既存管きよの改良による更なる有効活用や新たな雨水対策施設等の整備による効果的な対策の検討の実施 (浸水対策実施率(三沢川、土橋、京町・渡田、川崎駅東口周辺、大島、観音川地区) 目標:40.8% 実績:41.0%) ●局地的な浸水箇所における対策の推進については、排水樋管周辺地域における中期対策であるポンプゲート設備の整備に着手(排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数(令和元年東日本台風当日の床上浸水面積に対する解消率(想定) 目標:7対策(65.2%) 実績:7対策(65.2%)) ●下水道施設の浸水対策(耐水化)の推進については、京町ポンプ場や天王森ポンプ場における止水板設置等による耐水化が完了(水処理センター・ポンプ場の耐水化率 目標:83.3% 実績:83.3%)	1,058,524	1,567,536	3	P20
9	10302030	高度処理事業	施設の 管理・運営	これまでの下水処理に加え、赤潮などの原因となる窒素やリンの排出量を削減できるよう、水処理センターの高度処理化を推進します。	●水処理センターの施設整備による更なる高度処理化の推進については、等々力水処理センターにおける流量調整池の工事が完了(高度処理普及率 目標:100% 実績:100%)	2,467,218	6,263,151	3	P22
10	10302040	合流式下水道の改善事業	施設の 管理・運営	合流式下水道による公共用水域の水質汚濁を防止するため、貯留管の整備や遮集幹線の能力増強に向けた整備などを推進します。	●合流式下水道の改善の推進については、六郷遮集幹線の整備を進めましたが、支障となる地下埋設物の移設において、地下水の出水が確認され、止水に時間を要した上、想定外の地下埋設物により、施工方法の見直し及び協議に不測の日数を要したため、目標は未達成(合流式下水道改善率 目標:100% 実績:73.5%)	10,000	497,599	4	P24
11	10302050	下水道の管きよ・施設の老朽化対策及び未普及解消事業	施設の 管理・運営	施設の劣化状況を適切に把握し、中長期的な視点を踏まえ、リスクとコストのバランスを考慮しながら最適な下水道の管きよ・施設の再構築や再整備を行い、老朽化対策を進めるとともに、脱炭素化に向けた取組を推進します。また、未普及地域の解消に向けた取組を推進します。	●老朽化した下水管きよの再整備の推進については、管きよ再整備重点地域として位置付けた入江崎処理区及び加瀬処理区の一部において約6.6kmを実施するとともに、汚泥圧送管の再整備の推進については、約0.6kmを実施し、等々力水処理センターから戸手ポンプ場までの再整備が完了したほか、全国特別重点調査の実施要請に基づき約44kmの管路調査を実施 (管きよ再整備率(管きよ再整備重点地域) 目標:39.8% 実績:40.3%) ●未普及地域解消の推進については、平地区における下水管きよの整備を推進(下水道処理人口普及率 目標:99.5% 実績:99.8%) ●温室効果ガス削減の推進については、電力会社における温室効果ガスの電力排出係数が想定値に比べて高くなったことに伴い排出量が多くなったため、目標を下回ったが、入江崎総合スラッジセンター1系統却炉の再構築や入江崎水処理センターにおけるPPA事業による太陽光発電設備の導入により、「温室効果ガス排出量の削減割合」は基準年度である2013年度と比べて排出量を削減したことから、事業成果を確保 (温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比) 目標:-27.7% 実績:-23.3%)	14,690,332	11,315,553	3	P26

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
12	10302090	下水道事業における 経営基盤の充実・強化事業	その他	下水道事業経営の効率化やお客さまサービスの更なる向上を進めます。	●令和8年度以降の方向性を示す新たなビジョン及び中期計画を策定 ●下水道事業については、令和6年度に川崎市上下水道事業経営審議委員会へ諮問した下水道事業の使用料制度等のあり方について、令和8年2月に答申を受理し、検討を実施	17,819	19,580	3	P34
13	40101030	上下水道分野における 国際展開推進事業	その他	水関連企業の海外展開支援や上下水道分野の技術協力等を通じて、世界の水環境改善への貢献に向けた国際展開を推進します。	●かわさき水ビジネスネットワーク会員向けセミナーの開催 ●草の根技術協力事業に参画した会員企業による現地での技術・製品のPR、海外展開スキームへの応募に向けた支援等の取組を実施 ●川崎国際環境技術展へのかわBizネット会員との共同ブース出展等の情報発信を実施 ●ラオスでのJICA技術協力プロジェクトやインドネシア・マカッサル市及びバンドン市での技術支援等において、職員派遣を13件実施 ●研修生・視察者の受入れ等を22件実施 (国際展開活動件数 目標:100件 実績:116件)	18,157	13,248	3	P36

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和7年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和7年度の主な事務事業の評価結果一覧(市民文化局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁	
						予算額	決算額 (見込)			
1	10201010	防犯対策事業	その他	市民、事業者、地域の防犯関連団体、警察、行政等と連携し、安全・安心なまちづくりに向けた取組を推進します。	●防犯カメラの町内会等への設置補助については、121台を実施し、市が川崎駅周辺に整備した防犯カメラ100台を運用 ●ESCO事業については、約70,000灯の防犯灯の維持管理を行うとともに、116灯の防犯灯を新設 ●「かわさき安全・安心ネットワークシステム(防犯アプリ)」については、延べ80,000件ダウンロードされ、463件の犯罪・不審者情報を配信 ●住宅の防犯診断については、住宅侵入強盗事件などの影響や、特殊詐欺被害対策と併せた広報を実施したことで、目標を上回る59件実施(目標値:50件) ●出張防犯相談コーナーは、区役所や老人いこいの家等で開催するなど、37回実施(目標値:35回) ●上記の取組等により、市内刑法犯認知件数は、8,379件(目標値:8,500件)	845,374	754,480	3	P●●	①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載
2	10201015	犯罪被害者等支援事業	補助・助成金	犯罪被害者等を支える地域社会づくりを進めるため、支援制度を構築するとともに、相談窓口や支援制度などの効果的な広報啓発活動等を実施します。	●総合的な犯罪被害者等支援の実施について、条例に基づく各種支援を実施するとともに、犯罪被害者への理解を深めるため、イベントでのリーフレット配布のほか、川崎市犯罪被害者等支援講演会(11月26日)や市職員向けにe-ラーニングによる研修を開催(目標値:2回) ●専門相談員による犯罪被害者支援相談については、延べ1,057回実施	5,509	6,005	3	P●●	②市民サービス等の分類を記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他
3	10201020	路上喫煙防止対策事業	その他	たばこの火から歩行者の安全を守るため、路上喫煙の防止についての普及啓発や、重点区域を中心に路上喫煙防止指導員の巡回による注意・指導等を実施します。	●路上喫煙防止指導員による巡回活動を重点区域を中心に平日はほぼ毎日、土曜日も、ほぼ毎月1回実施 ●路上喫煙防止キャンペーンについて、市内各地で96回実施(目標値:90回) ●各重点区域にて通行者に占める喫煙者数の調査を実施(喫煙者数:10人、目標値:15人)	24,558	17,523	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	10201030	客引き行為等防止対策事業	その他	市民等が安心して公共の場所を利用又は通行することができるよう、「客引き行為」等の防止に向けた取組を進めます。	●商店街や警察と連携した客引き行為等防止キャンペーンを3回実施(目標値:3回) ●客引き・スカウトが頻出する夜間を中心に、重点区域において巡回活動を実施。平日はほぼ毎日実施し、土曜日も、ほぼ毎月1回実施	566	419	3	P●●	④令和7年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載
5	10202010	交通安全推進事業	その他	交通事故の防止に向け、行政、交通安全関係団体、警察、市民等と協働・連携し、交通事故のない安全で住みよい社会の実現をめざした取組を進めます。	●交通安全対策協議会と協力した啓発活動の実施 ●園児、小学生、中学生、高校生、成人、高齢者と各世代で交通安全教室を618回実施(目標値:490回) ●高齢運転者の交通事故防止を目的とした高齢者向け講習会の開催(3回開催) ●自転車マナーアップ指導員が自転車交通事故多発地域の巡回(189日の巡回) ●通学路の電柱巻き付け表示とスクールゾーン・文の路面表示の補修、新設(電柱巻付け:520件(目標値:800件)、路面表示:140箇所(目標値:120箇所)) ●高津区役所内相談ブースにて専門相談員による交通事故相談、及び中原区役所内相談ブースにて、月1回の弁護士相談の実施(177件) ●上記の取組等により、市内交通事故発生件数は、3,113件(目標値:2,878件)	45,186	41,596	4	P●●	⑤令和7年度の予算額及び決算額(見込)を記載
6	40205040	公共施設利用予約システム事業	施設の管理・運営	インターネットや利用者端末を通じて市民が公共施設を効率的に予約・利用するため、「ふれあいネット(公共施設利用予約システム)」の効果的な運用を進めます。	●運用面で定めた合意サービス水準をほぼ100%達成する等、システムを安定的に運用 ●次期システム構築・運用事業者を選定し、要件定義及び基本設計を完了 ●公的個人認証の活用を検討し、利用者登録に係るオンライン申請を実施	294,075	292,841	3	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40601110	住居表示調査等事業	その他	「住居表示に関する法律」に基づき、建物に順序良く番号を付け住所をわかりやすくする住居表示の実施を推進します。	●住居表示未実施地区町会等への制度説明を実施(住居表示実施率:80.7%、目標値:80.7%) ●住居表示実施後の住居番号設定等の維持管理を実施	39,777	20,354	3	P●●	⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載